

議 事 録

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|--|--|-------|-------|-------|-------|
| 会 議 の 名 称 | 第8回小川北学区義務教育学校開校準備委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開 催 日 時 | 平成30年10月18日(木) 19時00分～ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開 催 場 所 | 小川文化センター アピオス 小ホール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出 席 者 | <p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小石川寛則</td> <td>石井 正道</td> <td>吉田 洋子</td> <td>芝田 健二</td> </tr> <tr> <td>三代田 久</td> <td>戸塚 良和</td> <td>市根井克年</td> <td>藤田 康広</td> </tr> <tr> <td>新井 淳子</td> <td>小森 真史</td> <td>久保田達雄</td> <td>長谷川美智子</td> </tr> <tr> <td>佐藤 正</td> <td>萩野谷邦夫</td> <td>中村喜代美</td> <td>文倉 吉雄</td> </tr> <tr> <td>皆藤 正造</td> <td>野尻 秀子</td> <td>田口 智也</td> <td>小川 和夫</td> </tr> <tr> <td>中根 啓二</td> <td>中川 稔</td> <td>菅谷 正治</td> <td>鳥羽田 力</td> </tr> <tr> <td>藤井 敏生</td> <td>長島 幸男</td> <td>幡谷 好文</td> <td>石井 旭</td> </tr> <tr> <td>山本 洋平</td> <td>堤 憲之</td> <td>高野 晴夫</td> <td>大曾根慎悟</td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小川 勲</td> <td>長谷川明美</td> <td>片岡 友加</td> <td>成井 志野</td> </tr> <tr> <td>沼田 和幸</td> <td>萩原 栄</td> <td>佐川 竜二</td> <td></td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>長津 智之</td> <td>白井 律子</td> <td>植松 雄一</td> <td>藤田 誠一</td> </tr> <tr> <td>長谷川勝彦</td> <td>植田 薫</td> <td>外之内信浩</td> <td>内田 真基</td> </tr> <tr> <td>戸塚 聡</td> <td>入野裕美子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【その他】 (楠山設計)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>磯部 力啓</td> <td>青木 伸美</td> <td>寺林 大樹</td> <td>片嶋 一裕</td> </tr> </table> | 小石川寛則 | 石井 正道 | 吉田 洋子 | 芝田 健二 | 三代田 久 | 戸塚 良和 | 市根井克年 | 藤田 康広 | 新井 淳子 | 小森 真史 | 久保田達雄 | 長谷川美智子 | 佐藤 正 | 萩野谷邦夫 | 中村喜代美 | 文倉 吉雄 | 皆藤 正造 | 野尻 秀子 | 田口 智也 | 小川 和夫 | 中根 啓二 | 中川 稔 | 菅谷 正治 | 鳥羽田 力 | 藤井 敏生 | 長島 幸男 | 幡谷 好文 | 石井 旭 | 山本 洋平 | 堤 憲之 | 高野 晴夫 | 大曾根慎悟 | 小川 勲 | 長谷川明美 | 片岡 友加 | 成井 志野 | 沼田 和幸 | 萩原 栄 | 佐川 竜二 | | 長津 智之 | 白井 律子 | 植松 雄一 | 藤田 誠一 | 長谷川勝彦 | 植田 薫 | 外之内信浩 | 内田 真基 | 戸塚 聡 | 入野裕美子 | | | 磯部 力啓 | 青木 伸美 | 寺林 大樹 | 片嶋 一裕 |
| 小石川寛則 | 石井 正道 | 吉田 洋子 | 芝田 健二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三代田 久 | 戸塚 良和 | 市根井克年 | 藤田 康広 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新井 淳子 | 小森 真史 | 久保田達雄 | 長谷川美智子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 佐藤 正 | 萩野谷邦夫 | 中村喜代美 | 文倉 吉雄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 皆藤 正造 | 野尻 秀子 | 田口 智也 | 小川 和夫 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中根 啓二 | 中川 稔 | 菅谷 正治 | 鳥羽田 力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 藤井 敏生 | 長島 幸男 | 幡谷 好文 | 石井 旭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 山本 洋平 | 堤 憲之 | 高野 晴夫 | 大曾根慎悟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小川 勲 | 長谷川明美 | 片岡 友加 | 成井 志野 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 沼田 和幸 | 萩原 栄 | 佐川 竜二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長津 智之 | 白井 律子 | 植松 雄一 | 藤田 誠一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長谷川勝彦 | 植田 薫 | 外之内信浩 | 内田 真基 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 戸塚 聡 | 入野裕美子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 磯部 力啓 | 青木 伸美 | 寺林 大樹 | 片嶋 一裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協 議 案 件 | 配置、平面計画について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会 議 資 料 | 別 紙 (会議次第、 他) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 記 録 方 法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公開・非公開の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 2 人) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【委員長あいさつ】

家族団らんの時間にお集まりいただき、ありがとうございます。

今年度2回目となりますが、前回の委員会でいただいた意見をもとに、2階建てということまで決定しています。その案で、設計事務所に修正を加えていただいていますので、それについての協議ということになります。

スケジュールとしては、本日の委員会で、配置計画、平面計画を決定するという事になっておりますので、ご協力よろしくお願いできればと思います。

【協 議】

配置・平面計画について

事務局より説明

事務局 事務局より説明させていただきます。

前回の準備委員会で、A、B、Cの3案を学校ごとのグループで協議いただき、3階建てのC案については、児童生徒の管理上や防災上の懸念などの意見があったため、A案・B案の2階建て案で検討を進めていくこととなった。

その際の2階建て案への主な意見としては、

- ・図書室とPC室は調べ学習等の利用の観点から2階に配置するのが良い。
- ・図書室を1・2年教室から近いところに配置してほしい。
- ・外構配置計画について昇降口から駐輪場までの距離を近くしてほしい。

などがあった。

前回の準備委員会での意見を踏まえ、再度、楠山設計にて案を作成し、学校長と協議を行い、意見、要望を反映させたものが、本日の配置案、平面案となっている。

本日の資料は、【資料1】が施設整備方針、【資料2】が配置図、【資料3】が平面図、【当日配布資料】が図書室のイメージとなっている。

【資料1】については、前年度に施設整備方針が決定し、その方針に基づいて配置図、平面図をどのように計画したのかを、より詳細な文言で記載している。

【資料2】、【資料3】、【当日配布資料】については、施設整備方針を反映している部分が、図面上のどこに当たるのかを示している。

図面の詳細については、この後、楠山設計より説明する。説明ののち、前回同様、小中学校ごとのグループにて協議していただき、配置計画、平面計画について、発表をお願いしたい。

楠山設計 配置・平面計画は、前年度にまとめた【施設整備方針】を指針としている。そこで、その内容をまず、確認させていただく。

施設整備計画のテーマは、

“将来の小美玉市を託す 児童生徒を健やかに育む 義務教育学校”

となっており、テーマ実現のために3つの整備方針を定めて、計画の指針とする。

＝ 1 ＝の方針は、

“自然や地域に支えられ、児童生徒が安全に健やかに育つ学校”である。
小美玉の豊かな自然に支えられ、成長を地域とともに育ていける施設とする。また、安心して生活することができるよう、安全に配慮した施設とする。

＝ 2 ＝の方針は、

“小学校・中学校の9年間を見通した教育ができる学校”である。
児童生徒の9年の成長を感じられる学年教室や、異学年間・教職員間の交流の場などを整備するとともに、時代の変化に対応できる柔軟性のある施設とする。

＝ 3 ＝の方針は、

“児童生徒が個性を伸ばし、目標に向かい努力できる学校”である。
個性を伸ばし仲間と共に生きる社会性を学ぶとともに、将来の目標を見つけ準備のできる、多様な学習環境を整える。

これらの3つの方針に対応した配置計画と平面計画をまとめている。

配置計画については、アプローチ、施設配置、屋外環境、車両動線計画の4つの中項目に整理した。各項目の後ろに、関連する方針の番号を付記している。

平面計画についても、施設全体、学年スペース、メディアセンター、多目的ホール、校務センター、防災機能の6つの項目に整理した。各項目の後ろに、関連する方針の番号を同様に付記している。方針の＝ 1 ＝、＝ 2 ＝、＝ 3 ＝それぞれに関するものがある。

続いて【資料2】について、【資料1】の配置計画の要点を、項目ごとに番号を付して図面に記載した。①から⑨までの項目を、番号順に確認させていただく。

- ① 周辺の道路状況や道路幅員から、北側県道にスクールバスおよび車両の主出入口を設ける。
- ② 徒歩、自転車、自動車、スクールバスなど、それぞれの交通手段から校舎へのアクセスが安全かつ便利で使いやすい計画とする。
- ③ 昇降口に面して児童生徒が交流できる広場を設ける。
- ④ 校舎から体育館やグラウンドまでの安全な動線を確保する。
- ⑤ スクールバスのロータリーを整備し、雨天時にスムーズに乗降が行えるようビッグルーフなどを計画する。
- ⑥ 県道茨城空港線側に学校行事や災害時など多様な用途に対応できるように車両の出入口を設ける。
- ⑦ 南面のグラウンドを確保するなど教育環境に配慮し、既存校舎北側に新校舎を配置する。
- ⑧ 校舎まわりの身近な場所に、サブグラウンドを配置する。
- ⑨ サブグラウンドには低学年が安心して体を動かせる遊具スペースを配置する。

続いて【資料3】について、【資料1】の平面計画の要点を、項目ごとに番号を付して図面に記載したので、番号順に確認させていただく。図面の下側が1階平面図、上側が2階平面図となっている。

- ① 校務センターには、教職員の使用する諸室を集中し、児童生徒の教育指導に関し、効率の良い教職員間の情報交流の場として整備する。
- ② 職員室から児童生徒の登下校が見守れる位置に配置するとともに、グラウンドへの視認性を確保できる位置に整備する。
- ③ 新校舎の正面にはP T A・会議室を配置し、コミュニティスクールとして、児童生徒を地域の目で見守り、地域と連携しやすい学校とする。
- ④ 災害時には、避難所としての機能も担えるよう、ビッグルームなどを計画する。
- ⑤ 児童生徒や異学年・教職員・地域など、様々な交流の場として活用可能な多目的ホールを整備する。
- ⑥ 児童生徒の個性を伸ばすための学習や発表の場として活用する。
- ⑦ 昇降口に入り、目の前に広がる2層吹き抜けのメディアセンター（図書・PC室）を、異学年間の交流の中心として位置付ける。
- ⑧ 図書室とコンピューター室との一体的な整備により、児童生徒が主体的に図書や電子メディアを活用し、調べ学習に対応できる環境とする。
- ⑨ 新校舎と既存校舎の両方に向かう階段を設け、建物のどこからもアクセスしやすい計画とする。
- ⑩ 普通教室は全て南向きに配置することで自然採光・通風を確保する。
- ⑪ 学年区分のまとまりをつくり、異学年の通過動線のない落ち着いた学習環境とする。
- ⑫ 各学年区分のユニットにはグループ学習や少人数学習など弾力的な学習展開のできる、余裕のある多目的教室をつくる。
- ⑬ 木材の活用を図り、温かみがある建物とする。

最後に、【当日配布資料】は、図書室周りの説明のための補足資料である。前回の会議では、図書室の配置について、1階案と2階案のどちらにも、良いという意見が挙がった。そのため、2つの階のどちらにも図書室・PC室を設け、図書室内で移動可能な内部の階段を持つ、吹き抜けのある部屋となっている。

また、昇降口に面する位置に配置することにより、毎日の動線からも立ち寄りやすい交流スペースになると考えている。

今後さらに、構造・設備や法的な検討を進め、各項目の主旨を活かした計画となるよう詳細検討を進める。

以上が、配置計画、平面計画についての説明となる。

委員長 それでは、今の説明をもとに、小中学校ごとのグループで話し合いをしてもらいたい。記録用紙が、配置計画と平面計画の2項目に分かれているので、それぞれについて、ご意見をいただきたい。

グループ協議（20分間）

委員長 それでは、グループごとに発表をお願いしたい。

野田小 【資料2】の配置計画について、横断歩道の位置が気になる。また、校務センターからサブグラウンドが見えない、怪我をしたときに保健室が遠いなど、見守りとしては弱いとの意見が出た。

【資料3】の平面計画について、来賓用玄関と校務センターとの動線が気になる。防犯上や来客対応など、確認が取りづらい。受付カウンターがないため、来客が困るのではないか。また、保護者が来校してもすぐに対応できないため、校務センターの北側に出入口を設けてはどうかという意見が出た。

さらに、図書室については、屋根が高く、採光は大丈夫か、蛍光灯が切れた時に取り替えが大変であるなど、維持管理について懸念する意見が出た。

上吉影小 【資料2】の配置計画について、サブグラウンドを利用する際に、校務センターから子どもたちが見えないため、担当の先生がついていなければ、事故等があった時に対応できないのではないかという意見が出た。

また、サブグラウンドに人工芝等を配置して、児童が靴下のままで歩けるスペースがあっても良いのではないかという要望が挙がった。

【資料3】の平面計画について、図書室の丸いデザインは、本の収納スペースに対するデッドスペースが多いため、直線に配置した方が、たくさんの本が入るのではないかという意見が出た。

また、サブグラウンドに出る際、子どもたちは、靴を履き替えるために、一度昇降口へ戻らなければならず、時間がかかってしまうので、小学生専用の靴置き場等があると、出入りに便利であると思う。

さらに、保健室の配置について、一箇所に固まっているため、保健室から離れた場所で事故等があった場合に、対応に時間がかかってしまうのではないかという問題点が挙がった。

下吉影小 【資料2】の配置計画について、特に問題はない。自転車と車両の動線が分かれていて良い計画である。

【資料3】の平面計画についても、普通教室が全て南向きに配置されていて良いという意見が出た。

小川北中 【資料2】の配置計画について、グループ協議中に楠山設計に質問するかたちで議論を進めた。配置については、特に問題はなかった。

【資料3】の平面計画について、活動と活動のつながりが遠いということ改善できれば良いという意見が出た。例えば、校務センターとPTA会議室が離れているように感じる。また、1・2年教室と校務センターの距離が遠いため、1・2年教室の近くに職員の待機場所を整備できないかという要望が挙がった。

委員長 今の意見をもとに、楠山設計に再度練っていただき、次回の準備委員会において、提示するということが良いか。

意見等なし

委員長　それでは、次回の予定について確認をお願いしたい。

事務局　次回の準備委員会は、年明けの2月を予定している。
今年度最後となるが、立面図を提示させていただき、基本計画のまとめを
できればと思うので、よろしくお願いしたい。

委員長　今回の修正案の提示と、立面図の検討ということで、準備をよろしくお願い
したい。議事は以上とする。

副委員長　皆さまのご協力で、スムーズに会議を終えることができましたと思います。
本日の会議で、配置計画、平面計画について、原則は了承ということで、
グループ協議で出た意見を、楠山設計において反映していただくということ
になるかと思います。
次回の開催は2月ということで、また一步進んだ学校のすがたが見られる
と思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
以上をもちまして、第8回小川北学区義務教育学校開校準備委員会を閉会
させていただきます。

19:45 閉会